

真白

村井丈美

老鷺の磨き上げたる八幡領
神鷄も神亀も梅雨を眠りをり
形代へ息より強く海の風
茅の輪より海まで続く大路かな
宝物を観たる間の蟬しぐれ

億年の谷戸の地層へ黒揚羽
守秘義務のあり震へたる水羊羹
サーファーは砂にまみれて食べる寝る
ブラシ咲くサーフボードの並ぶ家
暮れ際にやつと日の出て青芒
魂は灼くるか海の古戦場
夜を拒みあぢさゐいつまでも真白